そよかぜだより

2014
12月

十二月（師走）

十二月に入りインフルエンザが流行る季節になりました。インフルエンザに感染しない為にも、予防が大切になります。人混みは避け、マスクは鼻、口元、あごをしっかり隙間なく覆うと効果的です。

乾燥するとウイルスが活性化するので、加湿器などを使用して湿度を五十～六十%に保ちましょう。そして、手洗いうがいをこまめにして、ウイルスの侵入を防ぎましょう。

インフルエンザの感染を広げない為に、一人ひとりが「かからない」「うつさない」ように心がけ、この寒い冬を乗り切りましょう。

クリスマスに向けて

今年も毎年恒例のクリスマスツリーとイルミネーションの装飾を始めました。
スタッフみんなで楽しく飾り付けたので、ぜひ見に来てください。

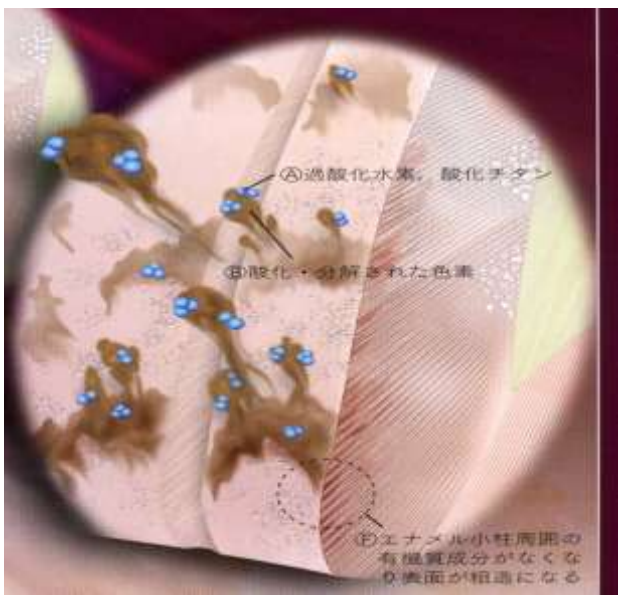
歯の色調を豊かにするホワイトニング

前回までは保険内適応範囲内で行える歯の機械的清掃についてお伝えしました。今回からは、保険適応範囲外で行う歯を切削しない方法である歯の漂泊法についてお伝えします。

現在、歯科治療で行っている歯の漂白法は適応する歯によって二つに分けられます。ひとつは歯の神経（歯髄）を除去され、根の治療を行っている歯（失活歯）に対して漂泊する方法で、もうひとつは神経がある歯（生活歯）に対して漂白する方法です。俗にいうホワイトニングは後者を示します。

下の図には生活歯の漂白を示しています。右には歯表面で色素性沈着物に漂白材は作用している図が、左にはその拡大像がそれぞれ図で示されております。拡大像でも解るように歯のエナメル質表面はいっけん平らなようですが、かなり微細な構造になっています。そこに色素は入り込み色調が悪くなります。そこに細かい漂白材料が反応し、漂白処置が成立します。

次回からは、この生活歯の漂白処置について可能な範囲についてお伝えしてゆきます。



参考文献：「イラストで語る　歯科医学最前線」

そよかぜ歯科医院のURL
http://soyokaze-dc.com

そよかぜ歯科

院長より

そよかぜ便りも今回で8度目のクリスマスを迎えようとしております。この間たくさんのスタッフによって歯の情報をお伝えさせて頂きました。これにより、たくさんの方々からご意見やご質問があり、私たちスタッフもとても励まされ、時には伝え方の重要性について深く考えさせられました。加えて若いスタッフの教育のひとつにもなったように感じます。

どのように伝えたら、解りやすいか？　楽しんでもらえたか？　など考えた上で少しずつ進歩できればと思っております。

年が明けるとそよかぜ歯科医院は9度目の開院記念日を早々に迎えます。今後とも貴重なご意見、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。皆様にとって来年も良い年になるようお祈り申し上げます。

職場体験

１２月１日～５日まで東深井中学校、２年生の生徒の方が職場体験に来ました。医院内の見学や、実際に患者さんと接する事により、歯科医院で働くことの楽しさが伝わっていれば良いと思います。来年も中学生の職場体験の受け入れ態勢は整っているので、興味のある方は、ぜひ参加して下さい。